

豊洲汚染対策の欠陥明らか

汚染対策は不十分

共産党質問に 小池知事認める

日本共産党東京都議団は3月27日、都議会予算特別委員会で、豊洲予定地の土壌汚染対策の致命的な欠陥を指摘し、豊洲への移転は中止し、築地市場の現在地再整備に踏み出すよう求めました。

都議団は専門家会議による豊洲予定地の地下水再調査で、環境基準の100倍のベンゼンが検出されたことをあげ「石原都政以来の3代の知事の下での土壌汚染調査・対策が不十分で、地下に汚染が相当残っていることが証明された」と指摘。小

池百合子知事に受け止めを聞きました。小池知事は「地下に汚染物質が残っている可能性が指摘された。都民との約束が十分果たしていないことについては真摯（しんし）に受け止める必要がある」と答え、対策の不十分さを認めました。

自民党の発言は「築地バッシング」

都議団は築地の土壌汚染について、敷地全域で土壌や地下水中にベンゼンが深く残留している豊洲と違い、全域に汚染が残っている可能性は低いと指摘。築地と豊洲の

土壌汚染を同列視する自民党などの発言は移転推進派による「築地バッシング」だと批判し、築地市場の土壌についても必要な調査を早期に行うよう求めました。

築地の老朽化や衛生問題は、石原都政以来、改修を怠ってきたゆがみ

築地の老朽化や衛生問題は、石原都政の1999年以来、本格的な改修を怠ってきたことによるゆがみだと指摘。本格的改修の実施を要求し、現在地再整備の本格的な検討に踏み出すべきだと提案しま

した。築地の現在地再整備について、小池知事は「新しい工法や手法による提案がされていることも承知している」と答えました。

豊洲移転は中止し 築地再整備の検討を

「土壌も地下水も基準以下にする」が都の約束。これが守られないことがハッキリしました。移転をきっぱり中止すべきです。



都議会議員（江東区選出）

あぜがみ・みわこ

あぜ上三和子

日本共産党

東京
民報

ご意見・ご要望は 03-5972-1621、FAX 03-5972-1590

2017年4月号外 日本共産党東京都委員会の見解を紹介します。
発行 / 東京民報社（港区芝 1-4-9 平和会館5階）1965年11月12日第三種郵便物認可